

令和 7 年度 富谷市立成田中学校 学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 1 2 日

学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

◎ 今年度の学校経営 8 つの重点

学力向上 ①基礎・基本の定着を図るための学習指導の工夫。 ②主体的・対話的で、深い学びのための指導の工夫。 ③「学び合い」の推進。 ④「協働する力」と他者に「表現する力」の育成。	豊かな心とたくましい体 ①「考え・議論する道德」の指導の充実。 ②思いやりの心とコミュニケーション能力の育成。 ③心と体を育てる「人づくり」としての部活動の推進。 ④生徒の自治的活動を支援する特別活動の推進。	志教育の推進 ①夢や目標を意識し、その達成に向かって主体的に活動する場の設定。 ②勤労観や社会性を養う体験活動の充実。 ③理想の生き方を求める啓発的な学習の場の設定。 ④自己の役割を果たす活動。	安心・安全な環境 ①生徒が安心して学習・生活できる学級づくりの充実。 ②生徒が生涯にわたって自己の命を守るために必要なスキルや知識を習得する防災教育の充実。 ③施設・設備等の安全管理。 ④教職員の危機管理意識の強化。
生徒指導の充実 ①生徒指導の三機能を意識した積極的な生徒指導。 ②引きこもりゼロを目指した不適応生徒の未然防止。 ③いじめ根絶を目指した取組の強化。 ④生徒理解の充実。	特別支援教育の充実 ①支援が必要な生徒の実態把握と実態に応じた教育課程の編成。 ②発達障害の理解と適切な支援の充実。 ③将来の自立に向けた支援。 ④特支学級の生徒が輝く活動。	信頼される開かれた学校 ①積極的・定期的な情報発信。 ②学校評価の実施と公開。 ③地域との連携強化と地域貢献活動の推進。 ④行事や授業の積極的な公開。 ⑤丁寧な進路指導の充実。 ⑥小中連携の強化。	教職員の資質・能力の向上 ①校内研究の推進。 ②分掌・教職年数・個々の課題に応じた研修への参加。 ③学校課題解決を目指した校内パワーアップ研修会の充実。 ④教職員の組織力の向上。 ⑤教職員評価の活用。

◎ 取組状況

- ・令和 7 年度学校評価における職員，保護者アンケートの集計結果に基づいて，重点事項に関する報告を受けた。また，質疑応答において補足説明を受け，重点事項に関しては概ね良好に取り組んでいるものと認められた。

(2) 成果について

- ・保護者アンケートの結果，「A よく出来ている」「B 大体できている」評価の割合で 80% 以上は，20 項目中，10 項目であった。また，同じく A と B 評価の割合で昨年度より向上した項目は 7 項目であった。特に，「読書」に関する項目は 8 % 以上向上しており，読書習慣の定着が進んだと推察される。

- ・「地域との防災活動」は長年続いており、生徒たちが自分で考えて動く内容となるように工夫して実施されていて評価できる。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・学校は地域の宝であり、学校と地域が協力して子どもたちの成長を支えていきたい。地域の方が学校教育により興味を持ち、積極的に関与できる仕組みができるとよい。
- ・保護者アンケートの結果、「いじめ」に関する項目の評価が前年度より低下している。いじめに対する学校の取組を保護者に理解してもらい、安心して登校させることができる学校づくりに、引き続き取り組んでもらいたい。
- ・給食の残食率が高い。学校での食育指導のみではなく、保護者と連携するなど、工夫が必要。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	・学校だよりが地域の回覧板で回るので、学校の様子が身近に感じる。 ・地域の人が気軽に来校できる仕組み作りが必要である。 ・教室に入れない生徒にも熱心に対応していて、登校できる生徒が増えたことはうれしく、ありがたい。 ・安全管理については「特色ある教育活動」でもある防災教育が充実していることによりAとしたい。 ・先生方の教育に対する情熱に感謝しているが、長時間労働にならないよう、特定の先生の負担になりすぎないような仕組みづくりを検討してほしい。 ・クマの対応、Jアラート時の避難の仕方とも考えてほしい。 ・校内研修、研究体制が素晴らしい。授業参観でも、工夫された授業に感心させられた。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	A	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	・「学力の二極化」の話を成田でも聞くようになった。個別対応の時間確保が難しいと思うが、つまづいた生徒を見過ごさないようにしてほしい。 ・自転車の乗り方についての指導があると良い。高校生になると一気に行動範囲が広がる。 ・部活動の体制が変わっていき、学校の在り方も変化する。地域全体で話し合う必要がある。 ・合唱コンクールは声が出ていて一体感があり、楽しそうに歌っていたのが印象的だった。 ・生徒指導について、学校では話しにくい内容など、保護者も交えて意見交換や情報収集をしてもよい。
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	A	

課題教育	1 環境教育	B	・SNS等、危険ということを理解できない生徒もいるので、家庭への周知が必要。
	2 情報教育	B	・ネットワーク教育に関しては、中学からスタートでは遅い。小学校時代の最初の一步が大切。保護者向けの学びの場もあるとよい。
	3 特別支援教育	A	・SNSが普及しても紙での読書は大切。外出先でも常に手元に「今読んでいる本」を持ち歩く習慣を身に付けてほしい。
	4 図書館教育	B	・残食率が市内中学校で一番高いので、改善が必要。指導方法の工夫を求める。
	5 健康教育	B	・防災教育は成田中の顔になってきている。災害が起こった時は即戦力として、頼りにしている。
	6 特色ある教育活動等	A	・成田中の防災教育は地域にとっても宝。
地域との連携について		A	・地域との防災活動は生徒たちが自分で考え動く素晴らしい教育である。
いじめ問題への取り組み		A	・いじめは絶対に許さないという強い態度で接してほしい。先生に相談できるような関係性を築いてほしい。 ・相談しやすい雰囲気づくりの項目で教職員も保護者も評価が高く、素晴らしい。